



第156号

まつの社協だより

令和3年4月発行

編集・発行
社会福祉法人
松野町社会福祉協議会

〒798-2101
北宇和郡松野町大字松丸1661-13
TEL (0895) 42-0794
FAX (0895) 20-5311

ケアマネだより ※ケアマネ：ケアマネージャー（介護支援専門員）

令和3年度介護報酬改定のお知らせ



4月1日より介護報酬が改定されます。
 今回の改正では、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生するなかで「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年に向けて「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援・重度化防止の取組の推進」「介護人材の確保・介護現場の革新」「制度の安定性・持続可能性の確保」を基本とした見直しが行われました。
 当事業所においても、ご利用者の皆様に、質の高い介護サービスをご提供できますよう、取り組んでいきたいと思っております。

～のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを～



森の国クラブ松丸 始動！



昔ながらのご近所付き合いを大切にしながら、みんなが役割を持ち、助け合うことが重要視される時代になってきました。松丸地区シニアの方々の「仲間づくりや健康、地域のために何かできることはないだろうか」という声から、平成27年に休会していた「松乃寿会」の再開に向けた協議を、昨年から重ねてきました。そして、お互いの想いを知り、みんなの気持ちがひとつにまとまって、令和2年12月14日「森の国クラブ松丸」と名称を新たに活動を再開しました。

今後の活動に向けて役員会が行われ「会員同士の親睦や世代間交流のために花見を行ってはどうか」「ちょっとした困り事のお手伝いならできそう」など、具体的な話し合いをし、森の国クラブ松丸の活動がスタートしました。



くらしの相談支援室のご案内

くらしの困りごと・不安なことはございませんか？

お金・生活 に関すること

- 計画的にお金を使いたいけど…
- 借金を返済できない…
- 滞納・未納がある…
- 毎日の暮らしに必要なお金の出し入れに自信がない…
- 通帳やハンコなど、どこに置いたか分からなくなる…
- 福祉サービスを利用したいけどどこに相談したらいいか分からない…



仕事 に関すること

- 仕事がなかなか続かなくて…
- 仕事を探しているけど見つからない…
- 仕事の探し方が分からない…



まずはお困りごとをお聞かせください。

窓口の相談員と一緒に考え、解決のお手伝いをします。

場所：松野町社会福祉協議会内
相談無料 秘密厳守



想いをつなげる

シトラスリボンプロジェクトを広めたい

シトラスリボンプロジェクトとは、コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。

愛媛特産のかんきつにちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場(もしくは学校)です。



人にあたたかい
まちになって欲しい

松野中学校生徒会では、「感染者への誹謗中傷や差別をなくしたい」という想いのもと、令和2年5月から校内でシトラスリボンプロジェクトへの参加を呼びかけているそうです。

その呼びかけは、中学校から町内の小学校へと広がり、さらに町内全体へと想いをつなぎ続けています。



地域の
みなさんと!



サロンでも!



コロナ禍でも、誰もが地域の中で笑顔の暮らしが送れるように、みんなが気持ちをひとつにして、助け合い、協力し合いながら、「人にあたたかいまち」を創っていきましょう。みなさんも、この取り組みの想いをつなげてみませんか。



想いでつながる

学校 × 地域



松野中学校2年生のみなさんが、福祉学習の時間に、子ども版地域福祉活動計画を策定しており、地域を知るために富岡地区と蕨生地区の地区福祉活動推進会に参加し意見交換をしました。その中で出てきた「地域の人たちと一緒にこんなことしたい!」という想いを叶える交流会をしました。

お茶づくりしたい × 富岡

中学生から、お茶づくりを通して「地域のことを考えたり、お互いのことを知ることで、地域の人との心の距離を縮めたい」という想いを受け、富岡地区推進員のみなさんが、冬期のお茶「寒茶」のことを調べ、一緒に茶葉を手もみしてお茶



づくりをしました。

できたてのお茶を味わいながら、お互いの「知りたい」ことを伝え合い、交流しました。地域の人から、昔の遊びや地域活動のことを聞いたり、中学生から部活や学校生活のことを話しながら、まちの未来についても考えました。

中学生の地域を想う気持ちに、地域の人たちも共感し、想いをかたちにすることができました。

災害のこと考えたい × 蕨生

蕨生地区の推進会で「災害時の避難訓練等の取り組みができておらず、不安だ」という地区の現状から、中学校で防災講座を行いました。

中学生から、災害時の避難生活に役立つ、体を清潔にするためのホットタオルの作り方や、三角巾を使った応急処置法等の紹介があり、中学生に教わりながら一緒に体験しました。



また、推進員のみなさんには、自分の非常時持出袋を持って来てもらっており、必要なものがそろっているのか、非常食の期限は切れていないか点検しました。

災害をテーマに地域のことを考え、互いに学び合い、「暮らしやすい地域をつくりたい」という想いでつなぐことができました。

